

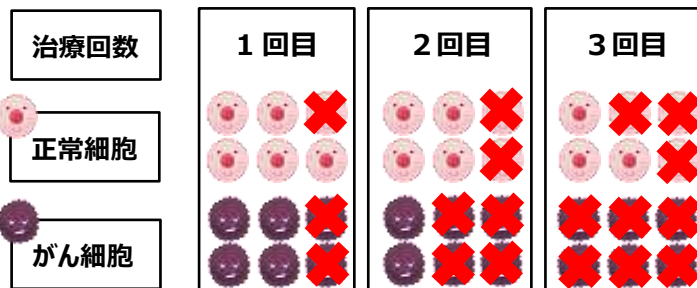
放射線治療

-Radiation therapy-



【放射線治療でがんをやっつける仕組み】

放射線によって細胞がダメージを受けた時にがん細胞のほうが正常細胞より生き残る細胞数(生存率)が少なくなります。



この生存率の差を利用することで正常細胞を残しながらがん細胞をやっつけていきます。これは治療回数を分割することで、より効果を得ることができるため、多くの放射線治療が1~2ヶ月の治療期間を有する治療となっています。

【はじめての方へ】

安心安全に放射線治療を受けてもらえようスタッフが全力でサポートいたします！ご不明な点がございましたら気軽にお声掛けください。

【治療装置の紹介】



Varian 社製
Clinac iX
(リニアック室6)



Varian 社製
TrueBeam STx
(リニアック室7)

【放射線治療を受ける流れ】

診察
方針の決定

放射線腫瘍医が放射線治療について詳しく説明します。また、あなたの体の状態や生活などを考慮して治療方針を決定します。治療の日程やスケジュールについてもここでお話しします。



治療計画の
準備

毎回同じ姿勢で治療を行うために固定具作成や固定補助具を用いて治療体位を決定します。位置合わせに必要な印を皮膚や固定具に書いて治療計画CTを撮影します。



治療計画の
作成

放射線腫瘍医が治療計画CTをもとに治療計画を作成します。治療計画は治療の方法によりますが最短で1日、長くても1~2週間程度で完成します。



照射

放射線治療は平日毎日(土日、祝日を除く)行います。治療回数は1~39回まで様々で、1回の治療時間は通常15分程度です。ただし、治療内容によって30分以上の時間を要することもありますので適宜説明いたします。



ご不明・ご心配なことは診療放射線技師にお尋ねください。
中央放射線部ホームページも是非ご覧ください →→→→→
<https://aichi-med-u-radio.com>

